

第 2 回東郷地域協議会会議録(要約)

日 時 令和 5 年 5 月 16 日(火) PM7:00～9:00
場 所 新城市役所 4 階会議室
出席者 委員 29 名 事務局 4 名

次第

- 1 あいさつ
- 2 協議
 - (1) 令和 6 年度地域自治区予算事業の検討について
- 3 その他
 - (1) 地域協議会だよりについて
 - (2) 地域計画推進体制検討会について
 - (3) 地域活動交付金活動紹介について

1 あいさつ

2 協議

協議会の会議録署名

- ・定数 29 人のところ 29 人の出席があり会議は成立している。
- ・会議録署名について、会長及び署名委員を 2 名指名し署名をお願いした。

(1) 令和 6 年度地域自治区予算事業の検討について (事務局説明)

- ・地域自治区予算事業策定要綱
- ・過去の東郷地域自治区予算事業
- ・令和 6 年度東郷地域自治区予算事業策定スケジュール
- ・令和 5 年度東郷地域自治区予算事業進捗状況

○主な意見

委員 多くの事業が生まれ実施されていることが分かった。ここでまた新しい事業を始めるよりも、例えばこの事業は参加者が少ないから見直しをしないとイケないとか、何か付け加えることなどを検討することも必要。やはり事業を維持することは大変だと思う。しかも、自主的に生まれたものでなく、地域協議会でみんなで苦労して作っている。この柱のチームで新しい事業を一つずつ生み出していくこともいいが、これまでの事業を検証して継続していくという視点の議論も必要だと思う。

会長 継続すべきものは柱ごとに考えていただければいい。また、以前に実施して一度終わった事業でも、新しいものにバージョンを変えて実施することも可能だと思っている。継続事業については、1～2回くらいで話し合っただき、それ以後、時間があるようなら新規事業を考え、次年度への申し送りにしてもいいので、そういう形でやって

いただければいいと思っている。

その後、地域計画の5つの柱ごとにグループにわかれ、令和6年度地域自治区予算事業計画の検討を行った。グループ討議終了後、各柱のリーダーから議論内容の発表があった。以下発表要旨。

柱1 暮らそう

- ・継続事業の足を考える会について、今年度が4年目で最後ということで、このまま終わってしまうのかという部分の議論もした。実際に会に入っている方からも話を聞いたが、問題点もまだ色々あるということを知った。例えば、道が狭くてSバスが入っていけない地域がたくさんあったり、Uターンできないという問題もある。また、多くの人に利用してもらうため、路線ルートが大きく回っていることで、目的地まで行くのに時間がかかってしまっているなど、いろんな問題がある。今年度で事業を終了するのではなく、来年度も事業を継続していく方向で話を進めている。今年度はバスのラッピング塗装もお金をかけてやったりとか、あとは、提案の中では、車両を小型化したらどうかという意見もあった。次回の会議から、足を考える会のメンバーや担当課にも入ってもらい、詳細を聞きながら、来年度にどういった予算を付けるのかも含めて考えていきたい。
- ・新規事業の提案だが、前年度の引き継ぎ事項によると、自宅に引きこもっている高齢者が出掛けてもらえるようなイベントや場所を作ろうというところを話し合った。高齢者だけではなく、子どもも対象にしたいという意見も出た。また、事例として、老人クラブで頑張ってもらっているところがあるので、片山地区の取材をさせてもらった。本当に活発化していて、60歳から100歳くらいの方まで、毎月行事に参加されていた。子どもからお年寄りまで参加しやすい工夫もされていた。須長地区では、毎月2回100円モーニングというものを開催している。そういったものを公民館で開催できたら、高齢者が外に出掛けるきっかけになるのではないかと。そうしたきっかけづくりをみんなで考えながら、実際に色々な公民館を回ったり、モーニングに参加してその後に話を聞いたりとか、色々な活動を知ることによって活発化につながることを検討していきたい。また、片山地区の老人クラブは元々防災や救護に繋がるということを目的にやっているそうなので、参考にお話も伺ったりしながら、今後はもっと話を詰めていきたい。

柱2 守ろう

- ・可燃ごみ集積所整備事業は地域計画では既に終了しているが、まだネットしかない場所も多く、鳥獣害の被害などの苦情が多々あり、今一度見直しをする必要があるのではないかと。色々な設置場所に色々な課題があると思うが、何らかの形でやった方がいい。
- ・AED設置管理事業について、予算としてずっと継続されているが、これはリース予算として、設置されているということを知った。また、すぐ使える環境にない場所があったり、収納場所に鍵がかかっている全然使えないとか、実際そういう事例も聞いた。また、せっかくAEDがあっても設置場所を知らなかったり、知っていてもAEDの使い方の講習を受けたことのない人もたくさんいるので、出来る限り広めていくことが大事だと思う。
- ・昨年度東郷中学校で防災キャンプを実施した。予算としては、100万円以上の予算がかかっている、毎年開催するのは難しいけれども、やはりこの地域は今災害のないスポットにな

っていて、いつ大きな災害が来るかわからないということで、あの手この手で大変だが、色々な対応を考えていった方がいいのではないかな。

- 通学路に緑のライン(グリーンベルト)があるが、これは当時 1,000 万円ほどかけて施工したそうだが、あれからもう 10 年も経っている。既に耐用年数が切れていて、ラインが消えたり剥がれたりなどの苦情が出ている。一度に全部塗り直すのは出来ないと思うので、計画的に実施していくことを考えたい。
- 東郷地域協議会の活動として多くの立派な事業をやっているけれども、PR 不足を感じている。せつかくやっていることが、なかなか地域の方に伝わっていない。もう少し活動が見えるようにまずは回覧を充実したほうがいいのではないかな。

柱 3 育てよう

- 3 つの継続事業があり、それぞれの実行団体が今動いてくださっていて、着々と進んでいる。それぞれ来年度の予算付けをするにあたって、事務局と相談しながら、次回までに継続事業の団体さんと調整し、予算を積算しておく。
- 今回は新しいチャレンジに焦点を絞って話し合った。明治時代の公民館のような場所があるので、そこを活用して、例えば新規就農者とか交流関係人口を育てていくのもいいという案が出た。その古民家がかなり古いので、昔の暮らしを体験できるような、とにかく地元の人では見向きもしないかもしれないけれども、名古屋や浜松の学生さんが興味を持つようなイベント等を開催し、新城に何度も来ているうちに気づいたら移住していた、みたいな仕掛けを作っていけたらいいのではないかな。その古民家は結構古いので、例えば DIY の講座を開いて、建築家の学生さんに来てもらったりという案も出たが、古民家が個人の持ち物だと、税金を使ってはいけないということになるので、それは難しいという話になった。とにかく地元の人にはあまり関心なくても、このような田舎暮らしに関心ある人が今増えてきているので、そういう人たちを呼び込めたらいいなという話だった。
- 今シングルマザーの人たちが増えていたりするので、そういう人たちのたまり場というか、集まる場というかシェアハウスみたいなのもあったらいいという話もあった。例えば、古いアパートを借りて、3~4 人のシングルマザーの方が、お互いの子育てを助け合ったり、家事を分担したりとか、そういうことができたらいい。普段、忙しいお母さんがなかなか作れないような料理がそこで食べれるとか、現状何か困っている人の困りごとを解決できたらいいなという話だった。
- これから夏になると、草刈をして、その刈草とか、竹やぶで困っていたら、竹とかが肥料となって、それが収益になればいい。薪や間伐材を集積できる場所があって、そこに取りに行けば、一杯いくらで薪が手に入るというような仕組みを作っていけば、そこに人が集まって何かそこでバーベキューをやったり、テントを張って、何か面白いことができればという話もあった。とにかくボランティアではなく、収益を上げるというのが、私はピンときていない。ど素人なので、収益を上げるということ、1 年目からは無理だとしても、2~3 年やっていく中で、収益を上げていくにはどうしたらいいのかという話の取っ掛かりを話したぐらいで時間切れとなった。

柱 4 学ぼう

- 継続事業として、長篠・設楽原歴史検定事業があるので、今年度は初級問題集の増刷のみ

となっているが、来年度は中級編の制作、それから初級編も再度増刷が必要になるかもしれないので、問題集を印刷するための費用を考えていきたい。ただ、これについては月1回程度の会議を重ねて、生涯共育課と相談する必要があるのでは、何が必要になるかということを実行委員会も含めて話をしながら決めたいと了解をいただいた。

- ・引き継ぎ事項にもあったが、情報発信をしていきたいということで、どこまでを地域協議会の予算として上げるのかというところが問題になってくる。何をどういうふうにするか、どこまでやるかというところを色々練って来年度の予算としてどこまで上げられるのか。ひょっとしたら1年ではなく継続事業になるのかというところを、もうちょっと時間をかけて考えたい。

柱5 楽しもう

- ・昨年度からの継続事業として、ホームページとケッターパークがあるが、本年度も継続して予算を取っていきたくて考えている。そのために事務局に一つお願いしたいのが、現状どういうふうに運営されているのかということと、今後の方針、それから必要経費について、担当課ないし実行団体から報告をいただきたい。その報告を見て、来年度予算について判断したいと思っている。また、ケッターパークについては駐車場の問題もあるので、ホームページも含め地域協議会から提案できる事項については提案をし、予算に向けてしっかりと活動していきたいと考えている。
- ・新規事業については、東郷のPRキャラクターが3体できているので、そちらの着ぐるみ化について予算を取りたいと考えている。せっかく作ったキャラクターなので、そちらを東郷のイベントなどでしっかりとPRしながら東郷地域のPR活動に使えるようなものとして、予算を取っていききたい。
- ・今まで取り組んできていなかった事業として、屋外イベント実施という事業が地域計画にあるので、そちらに関しては、東郷学び学校とコラボというか同日開催みたいな形を模索しながら、東郷地域全体の伝統文化などをPRできるような事業を市にお願いをして、同日開催みたいな形で何とか開催できるように持っていきたい。こちらに関しては、一度担当課と話がしたいので、協議会とは別日で一度セッティングを事務局を通してしたい。

○主な意見

事務局 実行団体や担当課に予算を確認してくる、実行団体のメンバーを次回の会議で呼んで欲しいなど、事務局に色々と宿題が出された。具体化出来そうなものや予算化できそうなものについては、予算の積算を次回会議までにしてくるが、まだまだ具体性のない部分については、次回会議で引き続き詳細を詰めていただき、具体化できるものは市担当課と調整させていただき事業化していく。その上でもう少し詳しいことをリーダーさんに伺うこともあるかと思うのでよろしくお願ひしたい。

3 その他

(1) 地域協議会だよりについて

- ・地域協議会で話し合ったことや決まったことなどを地域住民にお知らせする地域協議会だよりを定期的に発行している。今年度第1号は5月16日の区長発送で回覧を行う。

(2) 地域計画推進体制検討会について

- ・昨年度からスタートした地域計画推進体制検討会の内容について報告した。後日会から進捗状況について報告させていただく。

(3) 地域活動交付金活動紹介

- ・今年度当初に 11 の団体が活動をスタートさせた。一部の団体について紹介させていただいた。

【21:00 終了】